

# ものづくり技術を活かして地域貢献

～宇城市立小川小学校へのリヤカー贈呈～

熊本県立小川工業高等学校

平成28年1月26日に、機械科3年生8名が小川小学校を訪れ、課題研究で製作したリヤカー2台を寄贈しました。

8年前に同小学校に寄贈していたリヤカーの劣化が著しく、修理が困難な状況でしたので新たに製作して寄贈しました。



この日に行われた贈呈式では、「校内の清掃活動などで活用していきたい」と感謝の言葉をいただきました。同小学校の卒業生で作者の一人でもある生徒は、「自分は先代のリヤカーを使っていたこともあり、新たなリヤカーには思い入れも強い。しっかり掃除に取り組んでほしい」と、小川小学校の児童の皆さんを激励しました。



製作に当たっては、小学生の年齢構成・身長・引き力などを考慮しながら設計を行いました。製作途中で、リヤカー全体の高さを調整したり、前後のバランスを考えてタイヤの位置を変更したりして、やっと完成しました。

製作に取り組んだ生徒たちは、自分達が今まで培った技術を活かして、ものづくりで地域に貢献できることの素晴らしさを体験できました。また、生徒自身のスキルアップにも繋がりました

生徒たちは、贈呈式での小川小学校の児童の皆さんの喜びの声やお礼の言葉などに、感激していました。

生徒たちが、この経験を各自の進路先で活かしてくれることを期待しています。

